

日本港湾経済学会 第63回全国大会 那覇港

2025年9月3日（水）エクスカーショ 海上より那覇港港湾施設等見学

14時15分 集合 〒900-0016那覇市前島3丁目25-1とまりん1階

14時30分～16時00分（1時間30分） 16時15分～理事会

2025年9月4日（木）共通論題・自由論題・会員総会・懇親会

9時00分 受付開始 沖縄船員会館 〒900-0016 那覇市前島3丁目25-50

プログラム

自由論題（報告35分、コメンテーター5分、質疑応答5分）

	会議室 1 座長：大井尚司	会議室 2 座長：内田真仁
9:05～	デジタルツインを活用したコンテナターミナルの運用効率化－実オペレーションに即した計画法の提案－ 報告者：市村欣也 コメンテーター：高橋浩二	明治後期の横浜港築港計画－市原盛宏・三橋信方両市長の港湾政策を通して 報告者：権田益美 コメンテーター：内田真仁
9:50～	物流関連プラットフォームにおけるビジネスモデルの構造分析 報告者：町田一兵 コメンテーター：大井尚司	コロナ禍以降の我が国のクルーズ振興における現状と課題－港湾管理者の視点から 報告者：礒田将史 コメンテーター：内藤祐太
10:40～	国内における主要民営化空港の運営組織に関する一考察 報告者：川島太郎 コメンテーター：横見宗樹	国際P&IグループにおけるLetter of Indemnity(補償状)標準書式の変遷とその背景要因の分析 報告者：キリョフエグーニ コメンテーター：河野公洋
11:25～	AX(AI Transformation) 駆動の海洋産業のスマート革新戦略 報告者：韓洛鉉 コメンテーター：男澤智治	マネロン防止・経済安全保障対策への貿易デジタルデータ活用提言－新たな業界共通プラットフォーム構築 報告者：花木 正孝・河田 禅 コメンテーター：長沼 健
12:10～	昼 食（1階の食堂などをご利用下さい。）	
13:10～		コンテナターミナルにおけるトラック待機（所要）時間と待機態様の考察－東京港、ロサンゼルス港、ハンブルグ港 報告者：渡辺日佐夫 コメンテーター：松尾俊彦
14:00～	共通論題『地方港湾の活性化について考える』	
	栃木 晃 沖縄における港の現状と課題	
	長田 元 港湾計画・基本方針及び地域経済諸指標の視点から－	
	津守貴行 日本における地方港の役割と港湾政策のあり方	
15:30～	座談会 座長：男澤智治 ご参加のみなさんと『地方港湾の活性化』について意見交換を行います。	
16:00～	会員総会	
17:00～	懇親会 （別途：参加費4,000円を申し受けます。）	



日本港湾経済学会 第63回全国大会 那覇港

共通論題「地方港湾の活性化について考える」

会長 男澤智治
大会実行委員長 内田真仁

我が国には、基幹となる港湾が23港、それ以外に重要港湾が102港存在する。重要港湾は「国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾、その他の国の利害に重大な関係を有する港湾として政令で定めるもの」（港湾法第2条第2項）である。すなわち、各地域における重要な地方港湾という位置づけである。

これら地方港湾は地域の産業を支えると共に、①2024年問題への対応、②トータルコストの削減、③環境対策（CO2削減）にも寄与している。特にトラックドライバー不足は深刻な状況であり、貨物発生地の港湾から海上コンテナやトレーラー輸送ができることは重要である。また、国際輸送においては京浜港や阪神港への内航フィーダー輸送、国内輸送時のCO2削減のためにもトラックから海上への転換が求められている。このようなことから、地方港湾の果たす役割は今後とも重要である。

このようななかで、今年の全国大会は那覇港を中心に開催することになった。沖縄県は島嶼部が多く、物流の99%を、船舶・港湾を使った海上輸送が担っている。中心港湾である那覇港は外貿7航路、内貿29航路（令和4年8月時点）を有し、沖縄県の公共貨物の約68%を取り扱う物流拠点、また離島航路やクルーズ船等の人流拠点として、沖縄県の社会経済活動を支えている。将来計画では、那覇港の強み・特性であるアジアにおける地理的優位性や、近接する那覇空港との連携、流通加工等を行う物流センター、沖縄のリゾート地としての魅力等を活かし、アジア・沖縄・日本全国を繋ぎ、アジアの成長に貢献する拠点港を目指すとしている。中城湾港との機能分担、連携も重要視されている。

地方部では大都市よりも先に少子高齢化や産業衰退が進行するため、今後の地方港湾のあり方を考える場を提供したい。

アクセス

■路線バス：

泊高橋バス停から徒歩約1分
20番名護西線（沖・琉）/120番
名護西空港線（沖・琉）/77番名
護東線（沖）/52番与勝線（沖）/27
番屋慶名線（沖）/28番読谷（楚
辺）線（沖・琉）/29番読谷線
（沖・琉）/21番名護東線（琉）/23
番具志川線（琉）/63番謝苅線
（琉）/99番天久新都心線（琉）/31
番泡瀬西線（東）/3番松川線（那）
開南廻り/3番松川線（那）泊廻り
/11番安岡宇栄原線（那）小禄向
け/11番安岡宇栄原線（那）首里
向け/14番泊線（那）首里向け/14
番泊線（那）三重城向け/101番平
和台安謝線（那）巡回



■沖縄都市モノレール：

美栄橋駅から徒歩約10分

尚、本年より予稿集の印刷・頒布を行いません。予めご了承下さい。